



新潟大学
NIIGATA UNIVERSITY

参考文献の書き方

図書館学習サポーター

吉田 雄真 (自然科学研究科 修士2年)

話の流れ

- ✓ 参考文献って何？
- ✓ 参考文献の役割
- ✓ 参考文献を使用するために
- ✓ 書き方の例
- ✓ 本文との関連づけ
- ✓ 注意事項

- レポートの種類ごとの例
 - (主に)理系
 - (主に)文系
- 文献の種類ごとの例
 -  図書
 -  雑誌論文
 -  ウェブサイト

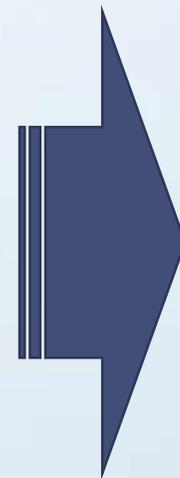


参考文献って何？



このインターネットの
記事をレポートに使おう

この本の内容を
レポートに盛り込もう



他人が書いた文章を
自分のレポートや研
究に使用する

参考文献



~~いい文章だから
勝手に自分のレポート
に書いちゃえ！~~



自分が参考にした文献を読者
に示さなければならない



参考文献の役割

- 自身の論文の新規性、独創性、信頼性の明確化
- 先行する著者(先人・先輩)に対する敬意
- 出典の明示
- 読者に対する情報提供





参考文献を使用するために

- 著者名
- 出版年、更新年
- 書名、論文名
- ウェブサイト名、URL など

読み手がもとの文献に
たどり着けるだけの情報を
明記する必要がある

※研究の系統や参考文献の種類によって記載方法が異なる

- SIST 02 : 主に日本語、特に**科学技術分野**でよく使われる
- APAスタイル : **心理学・社会学**などの分野でよく使われる



書き方の例①: 図書

【SIST 02 (主に理系)】

著者名 . 書名 . 出版社 , 出版年 , [総ページ数] , [シリーズ名] .

〔例〕 櫻井武 . 睡眠の科学—なぜ眠るのかなぜ目覚めるのか— . 講談社 , 2010 .

【APAスタイル (主に文系)】

著者名(出版年) . 『書名』 . 出版社 , [シリーズ名] , [総ページ数] .

〔例〕 櫻井武(2010) . 『睡眠の科学—なぜ眠るのかなぜ目覚めるのか—』 . 講談社 .



書き方の例②: 雑誌論文

【SIST 02 (主に理系)】

著者名 . 論文名 . 誌名 . 出版年 , 巻数 , 号数 , p.始め-終わり .

〔例〕 古重奈央 . 小学校家庭科における片づけの学習の検討 . 日本教科教育学会誌 . 2019 , vol.42 , no.3 , p.55-67 .

【APAスタイル (主に文系)】

著者名(出版年) . 「論文名」『誌名』 巻数 , 号数 , pp.始め-終わり .

〔例〕 古重奈央(2019) . 「小学校家庭科における片づけの学習の検討」『日本教科教育学会誌』 42巻 , 3号 , pp.55-67 .



書き方の例③: ウェブサイト

【SIST 02 (主に理系)】

著者名 . “ページ名” . サイト名 . 更新日 . 入手先URL , (閲覧日) .

〔例〕 中央教育審議会 . “新しい時代の初等中等教育の在り方について” . 文部科学省 . 2019 .
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1415877.htm , (参照 2022-06-30) .

【APAスタイル (主に文系)】

著者名(更新日) . 「ページ名」 . サイト名 . 入手先URL , (閲覧日) .

〔例〕 中央教育審議会(2019) . 「新しい時代の初等中等教育の在り方について」 . 文部科学省 .
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1415877.htm , (参照 2022-06-30) .



本文との関連づけ

【バンクーバー方式】

- ✓ 本文の引用箇所には引用順に連番を振る。
- ✓ 文献欄は連番順(引用順)に文献を書く。

● 本文

この問題に関して、吉田は、〜〜〜という見方をしている⁽¹⁾。それに対して、「〜〜〜」⁽²⁾という議論も存在する。

● 参考文献

- (1) 吉田□□ . ○○ . △△ , 1990 .
- (2) 佐藤□□ . ○○ . △△ , 2005 .

【ハーバード方式】

- ✓ 本文の引用箇所には文献の著者名・発行年を書く。
- ✓ 文献欄は著者名・発行年順に文献を書く。

● 本文

この問題に関して、吉田(1990)は、〜〜〜という見方をしている。それに対して、「〜〜〜」(佐藤,2005)という議論も存在する。

● 参考文献

- 佐藤□□ . ○○ . △△ , 2005 .
- 吉田□□ . ○○ . △△ , 1990 .



本文との関連づけ

【バンクーバー方式】

連
文

かう見
」(2)と

参考文献

- □□. △△. ◇◇. ○○.
- (1) □□. △△. ◇◇. ○○.
- (2) 佐藤□□. ○○. △△, 2005.

【ハーバード方式】

- ✓ 本文の引用箇所には文献の著者名・発行年を書く。
- ✓ 文献欄は著者名・発行年順に文献を書く。

- 本文
この問題に関して、**吉田(1990)**は、**〜〜〜**という見方をしている。それに対して、**「〜〜〜」**(**佐藤,2005**)という議論も存在する。

- 参考文献
佐藤□□. ○○. △△, 2005.
吉田□□. ○○. △△, 1990.



注意事項

- 新聞記事などの引用もOK
- 今回紹介した形式以外にも様々な形式がある
- 1つのレポート内では同じ形式に揃える

※ 科目担当、ゼミの先生の指示に従って適切な形式で記載する

- 参考文献の書き方をまとめた学習サポーターのブログもチェック
<https://niigatau-lib-iss.hateblo.jp/entry/2021/11/22/085348>

参考文献



新潟大学
NIIGATA UNIVERSITY

- 科学技術振興機構．参照文献の書き方．科学技術情報流通技術基準ホームページ．2007．
https://jipsti.jst.go.jp/sist/handbook/sist02_2007/main.htm，(参照2022-06-30).

【 Web 】

- 藤田節子．レポート・論文作成のための引用・参考文献の書き方．日外アソシエーツ，2009．

【 附属図書館所蔵 中央館3F:図書，816.5//F67 】

※ SIST 02 で記載